1. はじめに

本資料は入社前C言語研修の教材のリビジョン管理について記載した資料である。C言語研修の教材は以下のコンテンツから構成される。

|  |  |
| --- | --- |
| コンテンツの名称 | ファイルの種類 |
| 入門編（C言語で広がる世界） | pptx |
| 入門編（論理数学） | pptx |
| 基礎Ⅰ（１／２） | pptx |
| 基礎Ⅰ（２／２） | pptx |
| 基礎Ⅱ（１／２） | pptx |
| 基礎Ⅱ（２／２） | pptx |
| 応用 | pptx |
| C言語コンパイラ（gccコンパイラ）インストール手順書 | docx |
| Visual Studio Code インストール手順書 | docx |
| VNC接続マニュアル | docx |

上記コンテンツのセットをパッケージと呼ぶ。外部にリリースする際にはパッケージ単位でリリースする。したがって、各コンテンツの管理およびパッケージの管理が必要となる。

1. リビジョン番号

パッケージおよびコンテンツ(\*.pptx, \*.doc等)にリビジョン番号を付与することでこれらを管理する。リビジョン番号はメジャー番号とマイナー番号からなる。

* 1. メジャー番号

メジャー番号は10進数であり、1から始まり、1ずつ増やしていく。パッケージのメジャー番号とそのパッケージに含まれるコンテンツのメジャー番号は同一である。

* 1. マイナー番号

マイナー番号は10進数であり 、0から始まり、1ずつ増やしていく。メジャー番号を変更したら、マイナー番号は0に戻す。

1. コンテンツを保管するフォルダー

下記の名前を持つフォルダーを作成しそこにコンテンツを保管する。

* 00\_Rev\_<major>\_<pminor>
  + 作業用フォルダー
* 01\_Rev\_<major>\_<pminor>
  + 最新のパッケージのコンテンツが保管されているフォルダー
* 02\_Rev\_<major>\_<pminor>
  + 古いパッケージのコンテンツが保管されているフォルダー

**Remark**

フォルダー名に含まれる<major>はメジャー番号を, <pminor>はパッケージのマイナー番号を表すものとする。

これらのフォルダーは以下のパスの直下に作成することとする。

[\\grcore.com\PTCS\Open\40.組織\21.技術本部\30.機電技術部\100.教育研修G\10\_社外向け研修\02\_入社前C言語研修\01\_研修コンテンツ\](file:///\\grcore.com\PTCS\Open\40.組織\21.技術本部\30.機電技術部\100.教育研修G\10_社外向け研修\02_入社前C言語研修\01_研修コンテンツ\)

上記フォルダー内の構成は次の通りとする。ただし 03\_作業用には含まれないファイルが存在することがある。

01\_入門編

└01\_1\_入門編（C言語で広がる世界）\_Rev\_<major>\_<fminor>.pptx

└01\_2\_入門編（論理数学）\_Rev\_<major>\_<fminor>.pptx

02\_基礎編

└02\_基礎Ⅰ（１／２）\_Rev\_<major>\_<fminor>.pptx

└03\_基礎Ⅰ（２／２）\_Rev\_<major>\_<fminor>.pptx

└04\_基礎Ⅱ（１／２）\_Rev\_<major>\_<fminor>.pptx

└05\_基礎Ⅱ（２／２）\_Rev\_<major>\_<fminor>.pptx

03\_応用編

└06\_応用\_Rev\_<major>\_<fminor>.pptx

04\_接続マニュアル\_インストール手順

└07\_C言語コンパイラ（gccコンパイラ）インストール手順\_Rev\_<major>\_<fminor>.docx

└08\_Visual Studio Code インストール手順書\_Rev\_<major>\_<fminor>.docx

└09\_VNC接続マニュアル\_Rev\_<major>\_<fminor>.docx

05\_確認テスト

└10\_確認テスト（基礎Ⅰ、基礎Ⅱ）\_Rev\_<major>\_<fminor>.docx

**Remark**

ファイル名に含まれる<major>はメジャー番号を, <fminor>はコンテンツのマイナー番号を表すものとする。

1. パッケージの作成

ここでは、最初に改訂について説明し、次にパッケージの改訂手順について説明する。

* 1. 改訂

改訂にはメジャーな改訂とマイナーな改訂がある。**メジャーな改訂**とはコンテンツに対して大がかりな改訂を実施する場合をいう。メジャーな改訂とは以下のような改訂を指す。

* pptxに対するslideの追加や削除
* docxに対する章(section)の追加や削除

**マイナーな改訂**とはコンテンツに対して大がかりではない改訂を実施した場合をいう。マイナーな改訂とは以下のような改訂を指す。

* 表現の変更, 誤字脱字の修正, ナレーション原稿の言い回しの変更など

メジャーな改訂は計画的に実施し、マイナーな改訂は改訂の必要が生じたした時点で都度実施する。通常は、メジャーな改訂を行なった後マイナーな改訂を繰り返す、ということが繰り返されるはずである。

メジャーな改訂を行ったコンテンツを含むパッケージを**メジャーリリース用パッケージ**、メジャーな改訂を行ったコンテンツを含まないパッケージを**マイナーリリース用パッケージ**と呼ぶ。

* 1. パッケージの改訂手順

以下にパッケージの改訂手順を記す。**改訂対象のパッケージは最新パッケージに限るものとする。**説明のため、改訂対象のパッケージのメジャー番号を M, マイナー番号を m とする。

1. 作業用フォルダーを作成する。

メジャーリリース用パッケージを作成する場合、フォルダー名は 00\_Rev\_(M+1)\_mとなる。

マイナーリリース用パッケージを作成する場合、フォルダー名は 00\_Rev\_M\_(m+1) となる。ただし、(M+1)は(M+1)の値, (m+1)は(m+1)の値を意味する。

1. 改訂対象のパッケージの全コンテンツを作業フォルダーにコピーする。

メジャーリリース用のパッケージを作成する場合、コンテンツのファイル名のメジャー番号を M+1, マイナー番号を 0 に変更する。

1. 作業フォルダー中のコンテンツを改訂する。マイナーリリース用パッケージのコンテンツの改訂を行った場合、コンテンツのマイナー番号を 1 増やす。

コンテンツの改訂内容はすべて Redmine の ticket で管理する。対応するプロジェクトは Rev\_<major>\_<pminor> とする。

現状のRedmineのプロジェクト名は Rev\_<major>　となっているため変更が必要である。